



都内企業の景況感

—第120回企業動向調査結果 平成27年2月実施—



◎ 都内中小企業の景況は回復の動き。先行きも改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の5.0から今回7.1へと2.1ポイント上昇し、緩やかに回復している。先行きについて、同DI*は17.5へと上昇し、改善の見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	5.0	⇒	7.1 (前回予想 11.9)	⇒	17.5
2. 売上高DI*は、前回の6.7から今回5.5へと1.2ポイント低下、経常利益DI*は、-3.3から3.4へ6.7ポイント上昇した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	6.7	⇒	5.5 (前回予想 17.3)	⇒	6.0
	経常利益 DI*	-3.3	⇒	3.4 (前回予想 8.1)	⇒	5.1
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回10.0と0.3ポイント上昇、仕入れ価格DIは32.1と6.8ポイント低下した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	9.7	⇒	10.0	⇒	13.1
	仕入れ価格 DI	38.9	⇒	32.1	⇒	37.0
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の1.6から今回5.8へと4.2ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の10.8から今回5.7へと5.1ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-9.2	⇒	-8.9	⇒	...
	設備資金需要 DI*	1.6	⇒	5.8	⇒	13.3
5. 金融機関借入難易感DIは、今回28.5と3.4ポイント上昇、資金繰りDIは、今回8.9と4.6ポイント上昇した。	運転資金需要 DI*	10.8	⇒	5.7	⇒	9.3
	金融機関借入難易感 DI	25.1	⇒	28.5	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア15.2%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回3位の「人材難」が14.6%、第3位は前回2位の「原材料高・仕入価格高」が12.8%だった。第4位は、前回同様「労働力不足・求人難」で11.3%、第5位は、「売上不振」で10.8%だった。第6位は、「人件費等経費の増加」5.9%、第7位は、「取引先からの値引き要請」5.6%、第8位は、「円相場変動」5.1%であった。	資金繰り DI	4.3	⇒	8.9	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.2	⇒	15.2		
	人材難	12.8	⇒	14.6		
	原材料高・仕入価格高	14.9	⇒	12.8		
	労働力不足・求人難	12.1	⇒	11.3		
	売上不振	10.4	⇒	10.8		
	人件費等経費の増加	5.5	⇒	5.9		
	取引先からの値引き要請	4.8	⇒	5.6		
	円相場変動	4.4	⇒	5.1		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回2.5、今回5.4、先行き10.5)で判断したものの。前回は「晴れ時々曇り」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。

東京都民銀行(頭取:柿崎 昭裕)は、東京圏の中小・中堅企業を主な対象に年3回、景況調査を実施しております。このほど、平成26年11月～平成27年2月の実績見込みによる前年同時期との比較、および調査時点以降6カ月の見通しについての「第120回企業動向調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今回調査の概要:

1. 調査対象企業数	945	3. 回答企業の構成比		
2. 回答企業数	329		(件数)	(%構成比)
	(回収率 34.8%)	製造業	134	40.7
		非製造業	195	59.3
		合計	329	100.0
		従業員 30人以下	141	42.9
		従業員 31～99人	110	33.4
		従業員 100人以上	78	23.7

1. 自社業況判断、売上、利益

(1) 自社業況判断DI

都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が、前回の5.0から今回7.1と2.1ポイント上昇し、改善している。

業種別で見ると、製造業のDI*は2.4とほぼ前回並み、非製造業のDI*は10.7と4.0ポイント上昇した。

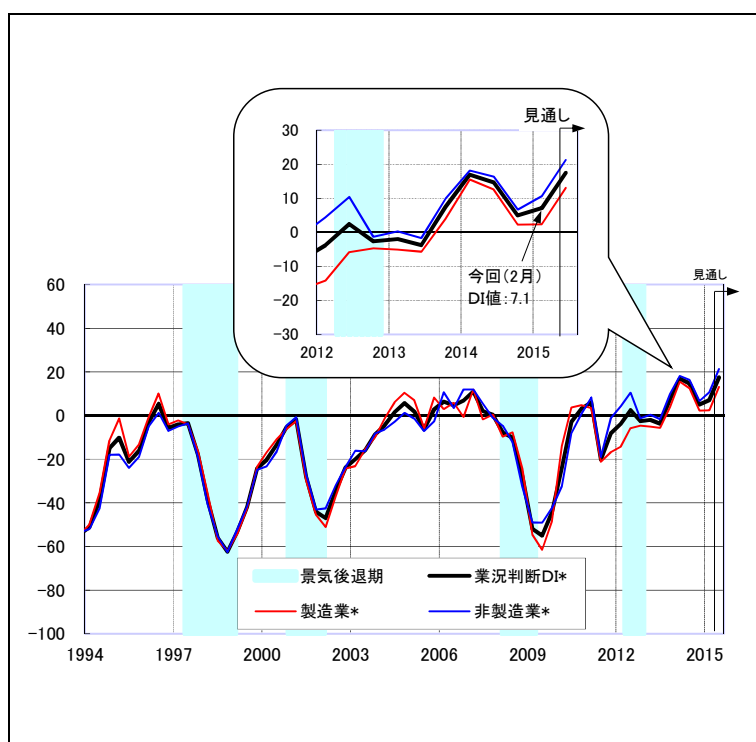
製造業の個別14業種のなかでは、一般機械など7業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、サービスなど6業種のDIが上昇した。

先行き(今後6カ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇して、全産業のDI*は17.5と改善する見通し。

(図1) 業況判断DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	14.7	5.0	7.1	17.5
製造業	12.6	2.3	2.4	13.1
非製造業	16.4	6.7	10.7	21.3



(2) 売上高DI

売上高DI*は、前回の6.7から今回5.5へと1.2ポイント低下した。

業種別で見ると、製造業のDI*は今回6.5と前回から3.5ポイント上昇、非製造業のDI*は4.1と3.9ポイント低下した。

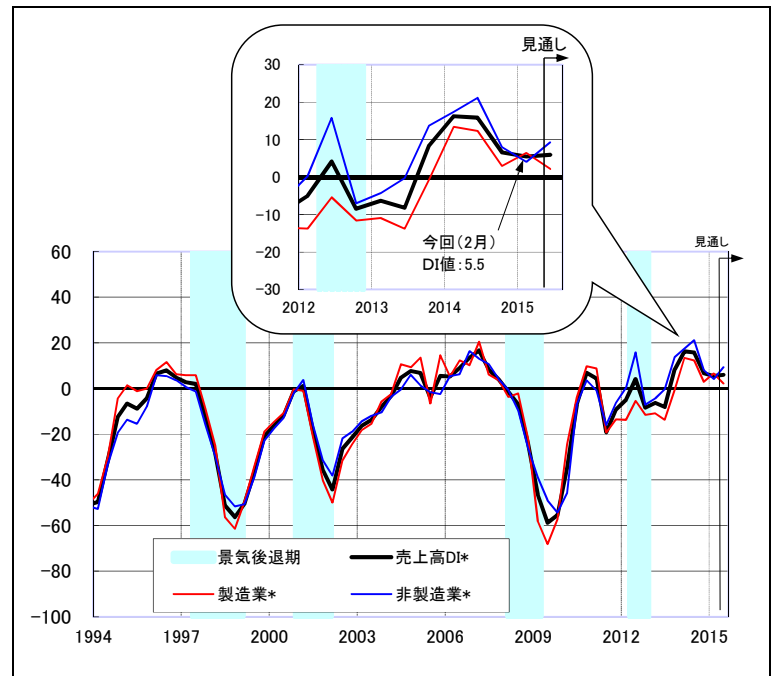
製造業の個別14業種のなかでは、化学など7業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など3業種のDIが低下した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業は低下、非製造業は上昇し、全産業のDI*は、6.0と上昇する見通し。

(図2) 売上高DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	15.9	6.7	5.5	6.0
製造業	12.3	3.0	6.5	2.2
非製造業	21.2	8.0	4.1	9.3



(3) 経常利益DI

経常利益DI*は、今回3.4と、前回の-3.3からプラス転換し、6.7ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDI*は今回4.1と前回から12.4ポイント上昇、非製造業のDI*は今回2.5と2.7ポイント上昇した。

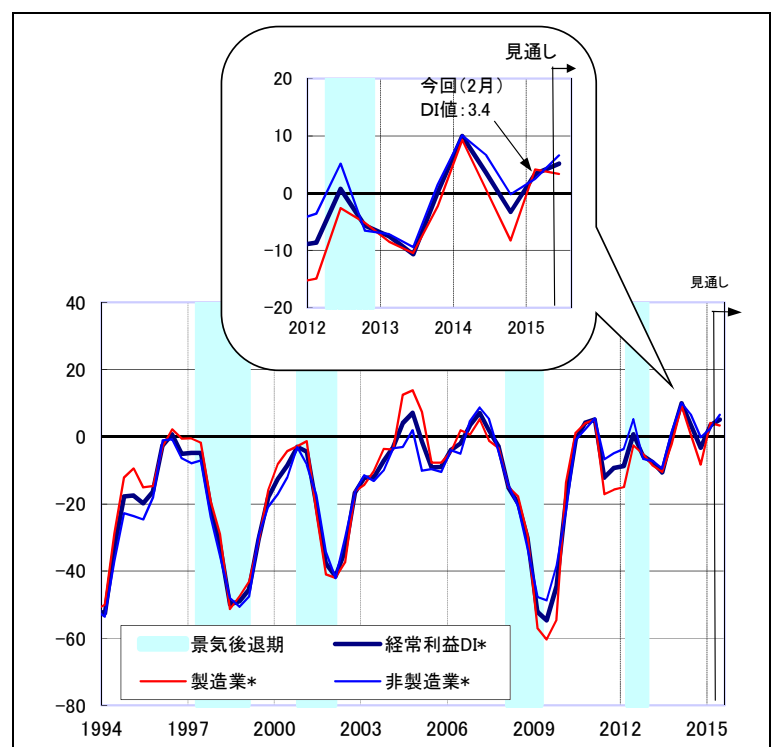
製造業の個別14業種のなかでは、化学など8業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、建設など6業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)DI*は、製造業は低下、非製造業は上昇し、全産業のDI*は、5.1と上昇する見通し。

(図3) 経常利益DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	3.6	-3.3	3.4	5.1
製造業	0.6	-8.3	4.1	3.3
非製造業	6.6	-0.2	2.5	6.6



2. その他の指標

(4) 販売価格

販売価格DIは今回 10.0 と前回の 9.7 から 0.3 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは 7.1 と前回から 0.8 ポイント低下、非製造業のDIは 12.0 と 1.0 ポイント上昇した。

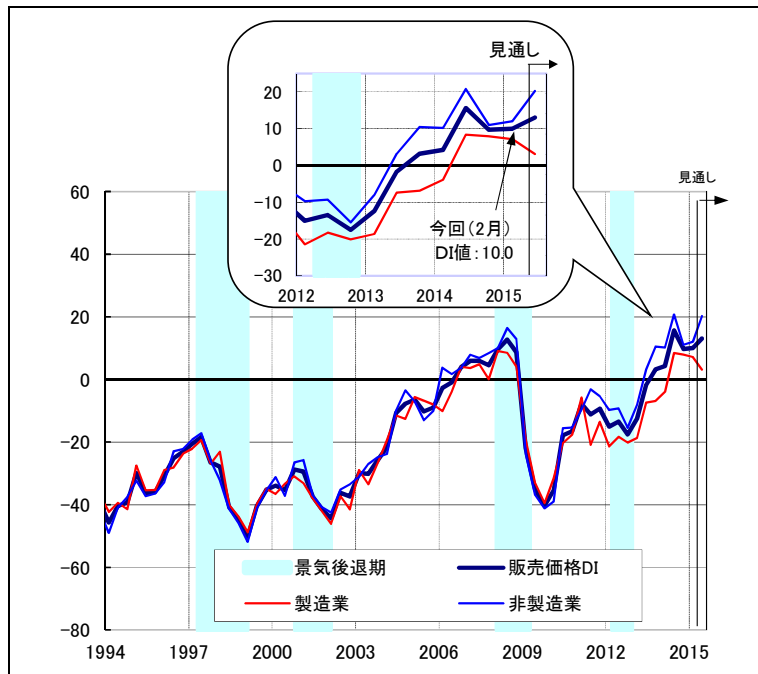
製造業の個別 14 業種のなかでは、電気機器など 8 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、情報通信など 3 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業は低下、非製造業は上昇する見通し。

(図4) 販売価格 DI の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	15.6	9.7	10.0	13.1
製造業	8.4	7.9	7.1	3.1
非製造業	20.8	11.0	12.0	20.2



(5) 仕入れ価格

仕入れ価格DIは、今回 32.1 と前回の 38.9 から 6.8 ポイント低下した。

業種別では、製造業のDIは今回 32.0 と前回より 11.7 ポイント低下、非製造業のDIは 32.2 と 3.1 ポイント低下した。

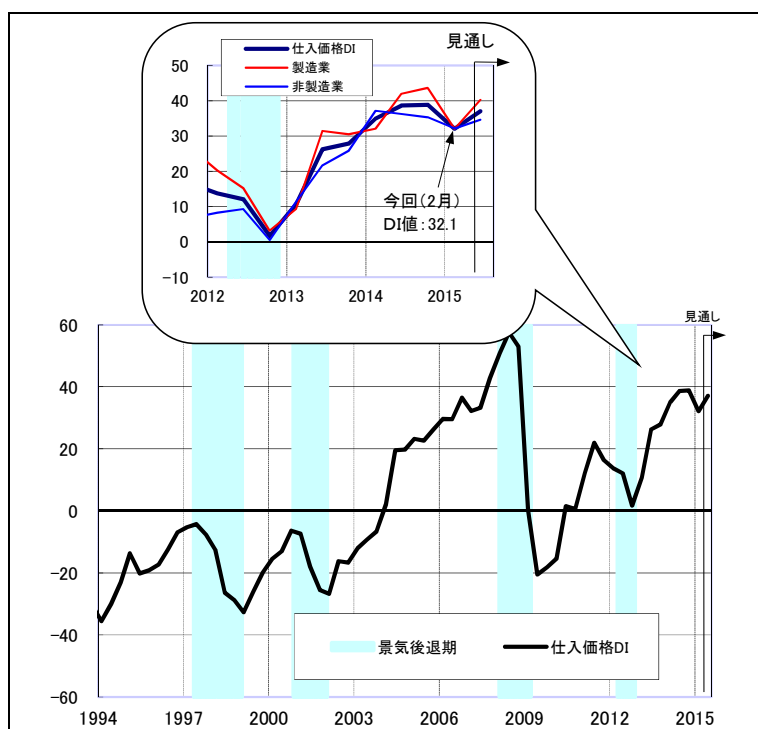
製造業の個別 14 業種のなかでは、精密機器など 8 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、運輸など 5 業種のDIが低下した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図5) 仕入れ価格 DI の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	38.7	38.9	32.1	37.0
製造業	42.0	43.7	32.0	40.3
非製造業	36.3	35.3	32.2	34.7



(6) 製商品在庫

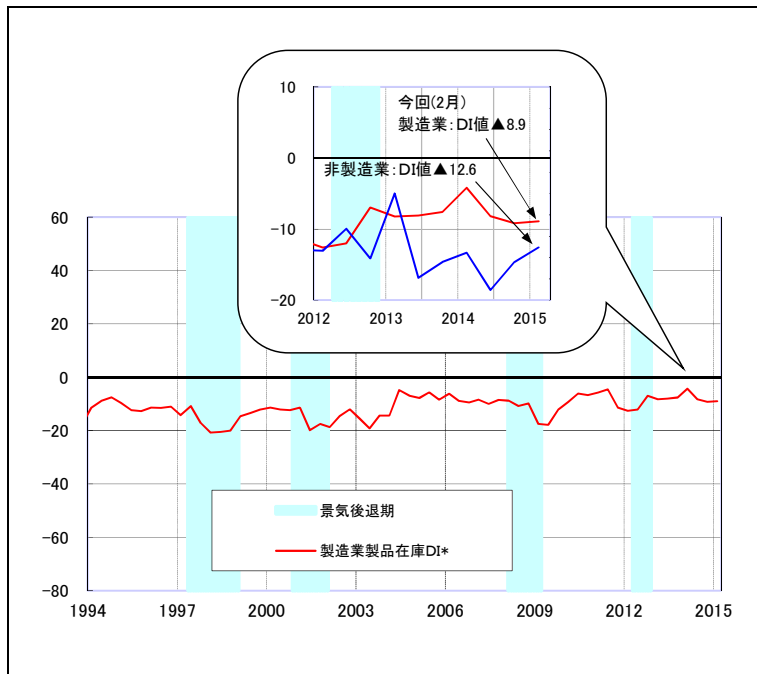
製造業製商品在庫DI*は、今回-8.9と前回の-9.2から0.3ポイント上昇、非製造業商品在庫DI*は、-12.6前回の-14.6から2.0ポイント上昇した。

(注)DI値*は、「不足」-「過剰」

(注)「非製造業」は、卸売業と小売業の合計

(図6)製商品在庫 DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)
製造業	-8.2	-9.2	-8.9
非製造業	-18.6	-14.6	-12.6



(7) 設備資金需要

設備資金需要DI*は、今回 5.8 と前回から4.2ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回 5.2 と前回より6.5ポイント上昇、非製造業 DI*は 6.6 と3.0ポイント上昇した。

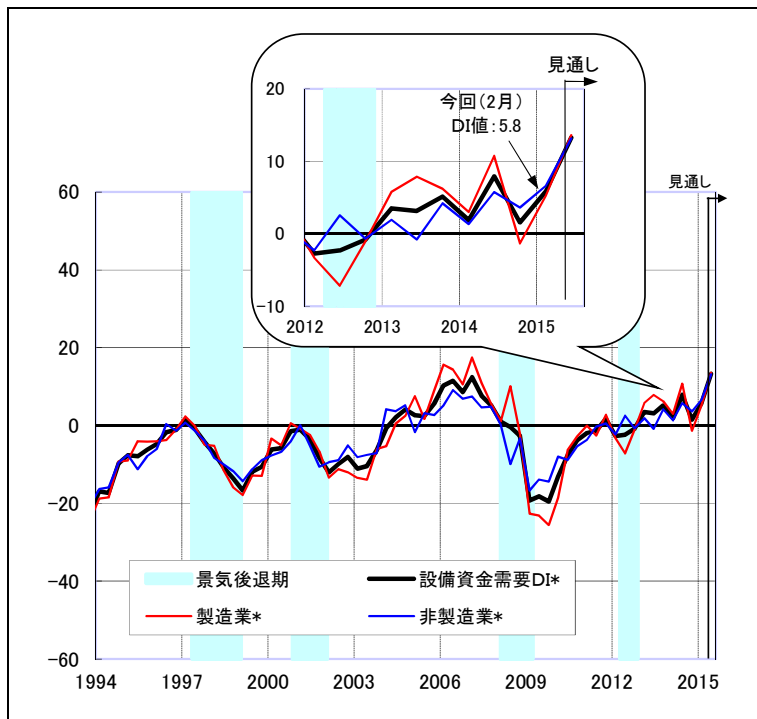
製造業の個別 14 業種のなかでは、食料品など8業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図7)設備資金需要 DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	7.9	1.6	5.8	13.3
製造業	10.8	-1.3	5.2	13.6
非製造業	5.7	3.6	6.6	13.2



(8) 運転資金需要

運転資金需要DI*は、今回 5.7 と前回から 5.1 ポイント低下した。

業種別では、製造業DI*は今回 10.1 と前回より 1.6 ポイント上昇、非製造業DI*は 2.2 と 12.1 ポイント低下した。

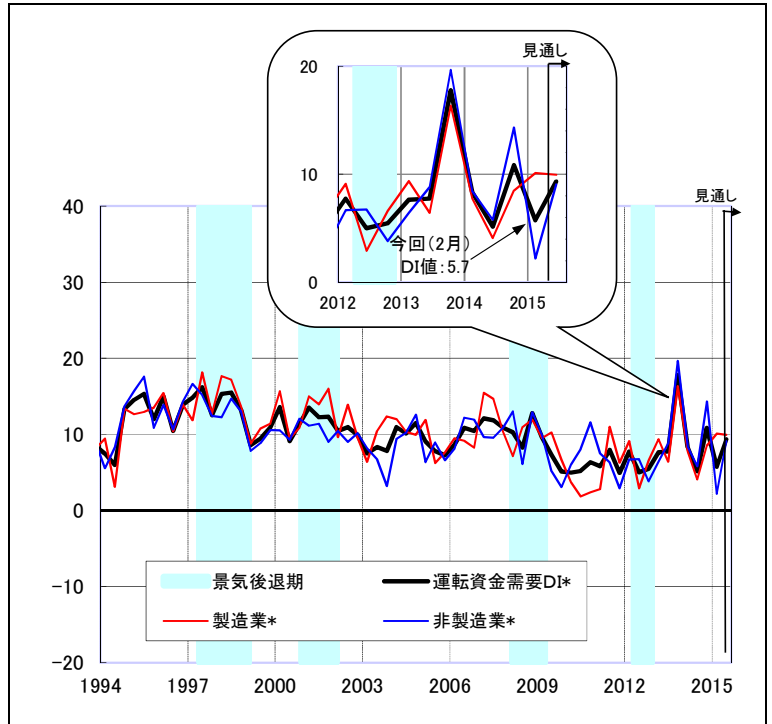
製造業の個別 14 業種のなかでは、印刷・同関連など 7 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、建設など 3 業種のDIが低下した。

先行きDI*は、製造業は低下、非製造業は上昇する見通し。

(図8) 運転資金需要 DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	5.2	10.8	5.7	9.3
製造業	4.1	8.5	10.1	9.9
非製造業	5.8	14.3	2.2	9.1



(9) 金融機関借入難易感

金融機関借入難易感DIは、今回 28.5 で前回よりも 3.4 ポイント上昇した。

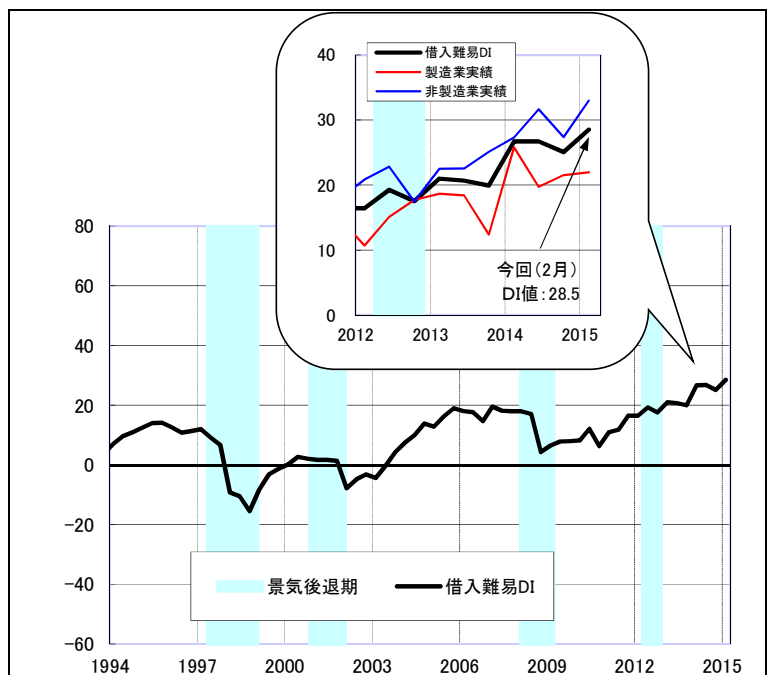
業種別では、製造業のDIは、今回 22.0 で前回から 0.5 ポイント上昇、非製造業は 33.0 と 5.6 ポイント上昇した。

製造業のなかでは、化学など 5 業種でDIが上昇した。

非製造業の中では、情報通信など 4 業種でDIが上昇した。

(図9) 金融機関借入難易感 DI の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)
全産業	26.7	25.1	28.5
製造業	19.7	21.5	22.0
非製造業	31.6	27.4	33.0



(10) 資金繰り

資金繰りDIは今回 8.9 と、前回の 4.3 から 4.6 ポイント上昇した。

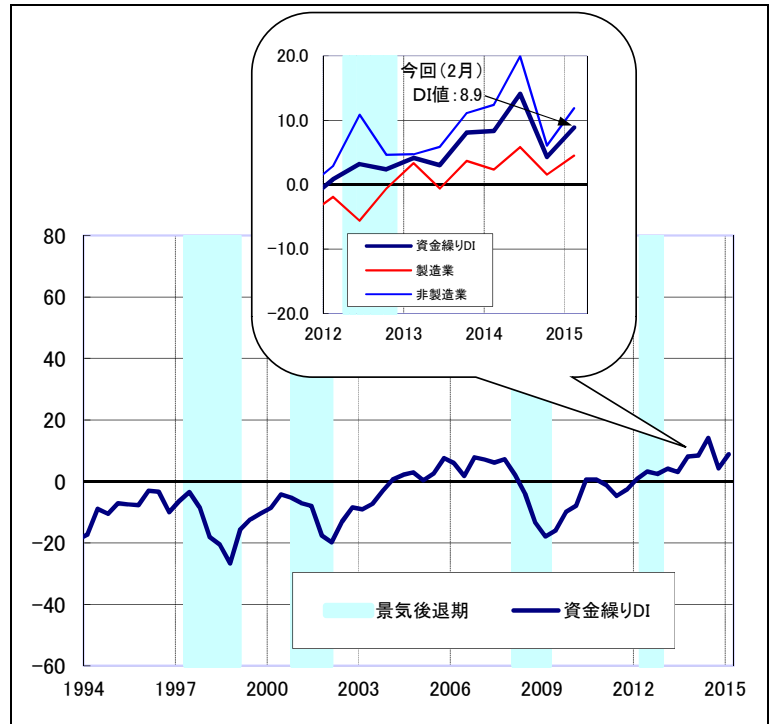
業種別では、製造業のDIは、今回 4.5 と 3.0 ポイント上昇、非製造業のDIは、今回 11.9 と 5.8 ポイント上昇した。

製造業のなかでは、窯業・土石など 6 業種でDIが上昇した。

非製造業の中では、建設など 7 業種でDIが上昇した。

(図10) 資金繰りDIの推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)
全産業	14.1	4.3	8.9
製造業	5.8	1.5	4.5
非製造業	19.9	6.1	11.9

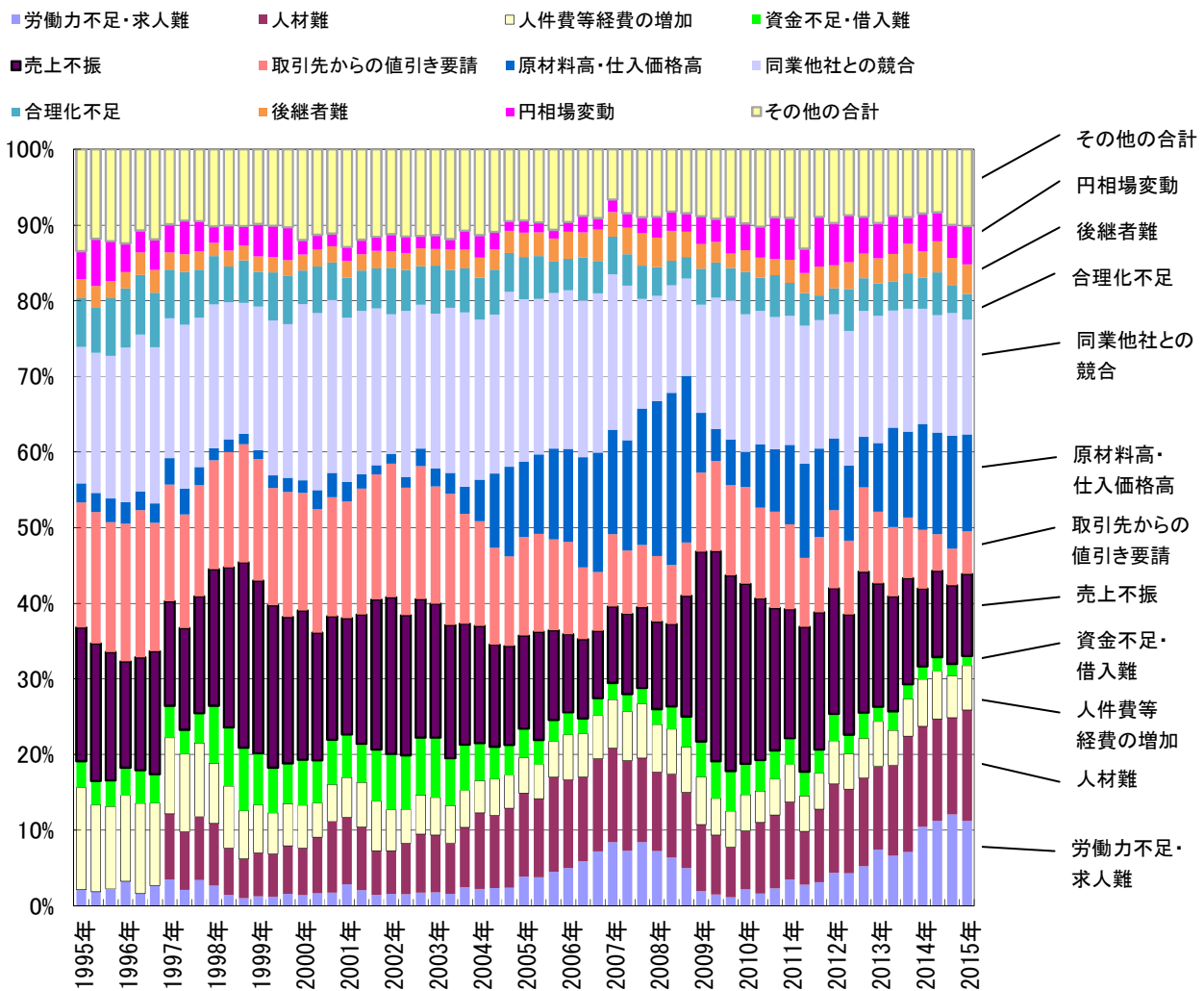


3. 経営上の問題点

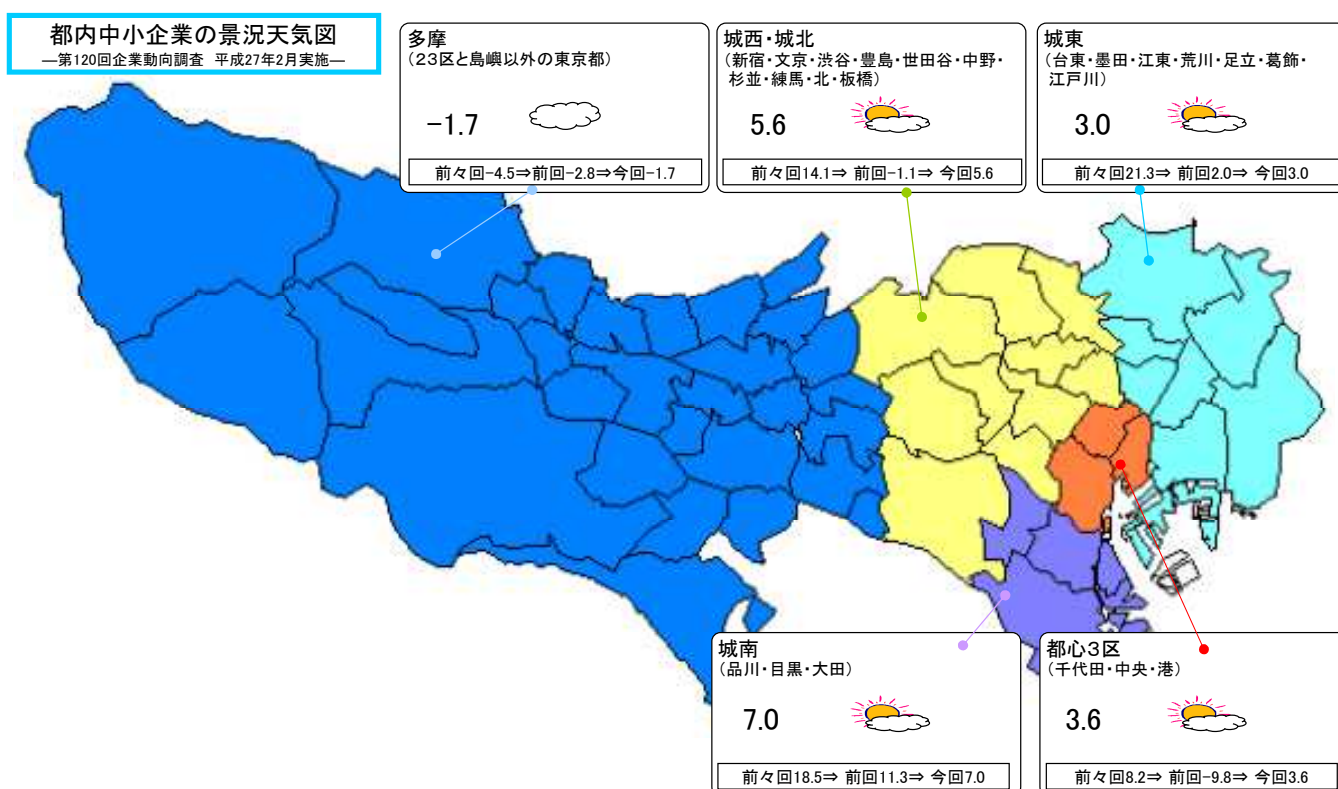
* 下図は、自社の経営上特に障害となっている事項として複数の○印をつけていただいたアンケート回答総数を100%として、それぞれの問題点が全体の何%を占めるか構成比を算出し、1995年～最近時点まで棒グラフで示したものを。

- 第1位は、前回同様「同業他社との競合」で構成比は15.2%と、前回の16.2%から1.0ポイント減少した。「同業他社との競合」が最大構成比となるのは、7回連続である。
- 第2位は、前回3位の「人材難」で構成比14.6%と、前回の12.8%から1.8ポイント増加した。
- 第3位は、前回2位の「原材料高・仕入価格高」で、12.8%と、前回の14.9%から2.1ポイント減少した。
- 第4位は、前回と同じ「労働力不足・求人難」で、11.3%と前回の12.1%から0.8ポイント減少した。
- 第5位は、前回と同じ「売上不振」で、前回の10.4%から0.4ポイント増加し10.8%となった。
- 第6位は、前回と同じ「人件費等経費の増加」で、5.9%と前回の5.5%から0.4ポイント増加した。
- 第7位は、「取引先からの値引き要請」で5.6%であった。

(図11) 経営上特に障害となっている事項。複数回答の%構成比の推移



4. 都内中小企業の景況天気図（参考）



表は、都内経済のアンケート調査に基づいた当行独自のものです。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨

- 上記景況天気図は、第98回(2007年10月)調査より、企業動向調査アンケート票に、所在地の項目を追加したものを利用して、上記6つの地域ごとに、①自社業況判断 DI、②売上高 DI、③経常利益 DI、④設備資金需要 DI の原数値を平均した数値を基に判断した、当行独自のものです。

本件に関するお問い合わせ先：
 東京都民銀行 営業開発部
 (担当：(株)とみん経営研究所 大月)
 TEL：03(3582)1145(代)
 ホームページ URL <http://www.tominbank.co.jp>